



2007~2008年度
国際ロータリーのテーマ
RCは分かちあいの心
2007~2008年度
ウィルワールド J. ウィルキンソン

Weekly Report

創立：1980年(昭和55年)11月10日
会長：岩本 成郎
幹事：西本 哲
クラブ広報委員長：亀井 直人
例会日：毎週木曜日 PM12:30~
会場：ヒルトン名古屋
事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1365回例会

~環境保全週間(5/30~6/4)~
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2008年5月15日(木) 晴 第41回

司会：高木 勝会場委員長
斉唱：「我等の生業」
ゲスト：愛知県地球温暖化防止活動推進センター事務局次長 北折洋太郎さん

会長挨拶 岩本成郎会長

一子どもたちー

例年のことながら今年も小学校新一年生が最後列から早足について登校する、そんな姿を送り出した母親だろう、不安げな顔で見送っています。

そんな風情があちこちでよく見られる今日この頃です。先日、学校帰りの女の子と横断歩道ですれ違いました。新一年生らしく黄色い帽子、小さな背に赤いランドセルが揺れています。左手をまっすぐ上に上げ、わき目もふらない。その緊張ぶりがかわいくて見守っている内、自然と笑みが浮かんできます。こんな時、子どもは社会の宝物だなとしみじみ思いふと孫の顔が頭をよぎります。我が家の一番下の孫も新一年生です。

万葉歌人山上憶良の歌でこんなものがありました。「銀(しろがね)も金(くがね)も玉も何せむに優れる宝子にしかめやも」まさに子煩悩な親の情愛が限りない広がりとなっています。金銀財宝に換え難い子どもを家庭や地域社会が守る。それはいつの時代どんな国々でも一緒だと思います。

中米グアテマラで日本人観光旅行者が襲われて死亡した事件がありました。これは住民が勘違いした悲劇でした。マヤ文明の遺跡に近い町で日本のツアー客が写真を撮り始めた際、誰かが「子どもがさらわれる」と叫び声をあげ周囲の住民が襲いかかったという話。中南米では貧しい子どもたちが行方不明になる事件が珍しくなく、子どもを誘拐して外国人に売り渡す人身売買もあって、子どもの写真がこうした取引の材料になるそうです。この襲撃は人さらいと思いこんだ地元の人々がバスのトランクまで調べたそうです。グアテマラは数年前まで内戦が続き、治安は良いとは言えず、異文化に対する配慮が必要です。魂が奪われる写真を嫌ったり、子どもの顔をなでるのをタブー視する国もあります。子どもを大切にするのは共通していても世界は実に広いと思いました。



幹事報告 西本 哲幹事

- ・本日新旧クラブアッセンブリー及び理事会です。13時35分から9階「ことぶきの間」です。
- ・次週5月22日(木)はロータリー規定により休会です。
- ・会員の景山和明さんが4月30日をもって退会されました。

出席報告

梅田朋嗣出席委員

会員72名 出席53名 (出席計算人数52名)

出席率82.8% 5月 8日は補填により91.5%

ニコボックス

梅田朋嗣ニコボックス委員

- ・5月10日は結婚記念日です。 布目 徳さん
- ・4月10日は結婚記念日でしたが、4月は一回も出席できず今日になってしまいました。申し訳ありません。 森 恒夫さん
- ・5月1日は45年目の結婚記念日でした。 田中 政雄さん
- ・新緑の美しい今日この頃でございます。日頃は例会に欠席して申し訳ございません。このたび家内の誕生日にきれいなお花を贈っていただきまして誠にありがとうございます。今後もよろしくお願ひ申し上げます。 館 健吾さん
- ・誕生日来て欲しくないと言っていたが、お華を見てにっこり。 守谷 巖樹さん
- ・5/27は妻の誕生日です。プレゼントは岩崎さんのお店で買いました。 平野 好道さん
- ・なつかしいお顔、会場、食事に接し、感激しました。体調復帰より先に薬害の強さと戦っています。 江口 金満さん
- ・5月13日で息子が26才になりました。未だ学生で困ったものです。今晚は淋しい岩田修司さんの面倒を見させて頂きます。 松波 恒彦さん
- ・ローターアクトの年次大会への出席ありがとうございました。第一回日台ロータリー親善会議に参加してきました。台湾のロータリアンから米山奨学金300万円の寄付がされました。 遠山 堯郎さん
- ・5月12日ナゴヤドームでの中RCとの野球試合には、高齢者にも拘わらず孤軍奮闘して参りました。試合は最終回9対5で負けていましたが見事反撃をし9対9の引き分けで終わりました。最後はサヨナラのチャンスでしたが一寸残念でした。事務局の井上さん、応援有難う！ 野崎 洋二さん
- ・久しぶりに例会に出ます。 中川啓二郎さん
- ・岩田修司さんにお久しぶりと言われました。 内田 久利さん
- ・5月9日、5月10日と2日続けてローターアクトの大会に出席しました。それにしても本大会には瑞穂RC多数の参加者、心強いかぎりでした。来年もよろしく。先日岩田吉廣さんにお世話かけました。 稲葉 徹さん
- ・本日の講師(卓話)の北折さんは、当方が中部電力時代一緒にした仲間です。本日はよろしくお願ひいたします。 梅田 朋嗣さん

臨時例会変更のお知らせ

名古屋西			6/19(木)
名古屋北			6/20(金)
名古屋守山			6/18(水)
名古屋みなと	5/30(金)		
名古屋東南	5/28(水)※		
名古屋中			6/16(月)※
名古屋和合		6/11(水)	
名古屋名東			6/17(火)
名古屋名北			6/18(水)※
名古屋千種			6/17(火)※
名古屋大須		6/12(木)※	
名古屋名南			6/17(火)※
名古屋葵		6/12(木)※	6/19(木)※
あま			6/16(月)※
名古屋空港		6/9(月)※	
尾張中央			6/18(水)
名古屋城北	5/27(火)		
名古屋清洲		6/10(火)	

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。

第2760地区 春の野球大会

5月12日(月)午後5時40分～ 於:ナゴヤドーム

5月12日(月)17時40分より、「第2760地区春の野球大会」がナゴヤドームにて開催され、名古屋中RCと対戦しました。当クラブは相手チームに4点差をつけられていましたが、最終回で4点入れ、見事9対9の同点に追いつきました。もう少しで勝ち越せたと思うと少々悔しくもありますが、近藤茂弘さんのドラゴンズ荒木を凌ぐ守備、亀井直人さんのタイガース赤星と見間違ふかのような盗塁、そして70歳を超えているとは思えない機敏で華のある身のこなしを披露した野崎洋二さんのプレイには拍手喝采でした。



卓話

愛知県地球温暖化防止活動推進センター事務局次長 北折洋太郎さん

知ろう、始めよう、地球温暖化防止



皆さんこんにちは。本日は伝統ある瑞穂RCの貴重な席をお借りしてこのようなお話ができ、大変光栄でございます。今年は7月7日に洞爺湖サミットが開催され、京都議定書の約束年が始まる「地球温暖化対策元年」という年です。温暖化は子どもさんたち、そして更に次の世代に大きな影響を与える問題です。今日は短い時間ですが、何か一つでも気づいていただき取り組みの輪を広げて行けたらという主旨ですので、どうぞよろしくお願い致します。お手元のレジュメとパンフレットをご紹介しながら温暖化についてご説明致します。

京都議定書の約束年は2008年から2012年の5年間で、日本は1990年のレベルから排出量を6%削減するということを公約致しました。しかし京都議定書が採択されてから今までに下げどころか8%ほどあがってしまっているのが現状です。

温暖化問題とはあまりにも多岐に渡っているので、かえって皆さん1人1人においては「何をやらたらよいかわからない」とか「自分1人がやってもやらなくても大したことはない」などと思ってしまうかもしれません。しかし温暖化への取り組みというのは、国民1人1人が待たなして取り組まないといけないうことなのです。

まず、温暖化問題で「平均気温が2度上がる」と聞いた時「たった2度」と思いがちですが、平均気温ということは「365で割る」となるので2度あがるということは1年間で730度。昨日より今日2度暑いというのとは全く違うことなのです。例えば気温が30度を

超える日が3ヶ月続くとか一冬氷が張らないとかそういう状況が起こることになります。従って平均気温2度上がるということは、生態系や農業の産地には非常に大きな影響を与えるのです。

5月のはじめにミャンマーでサイクロンが発生し、10万人を超える犠牲者を出しましたが、あれは海水温が上がり台風が大量のエネルギーの供給を受けたためと言われてます。サイクロンでかぶった水は海水なので、当然あの地帯の米作は相当な被害が続き、元に戻るまでにはかなりの年月がかかると思われます。

また世界人口の増加も問題となっています。世界の人口は、私は小学校のとき35億人と習った覚えがありますが現在は66億人、さらに2050年には90億人を超えと言われており、大半が発展途上国の増加です。こうした国々の生活水準が上がってくると二酸化炭素の排出もまだまだ増加します。

レジュメの地図をご覧ください。これは、WWFが提唱しているもので、その国がその国の生活をするのにどれだけの土地を使っているかという概念で示した地図です。アメリカや日本はかなり本来の形より膨らんでおりますがアフリカはかなりスリムです。全世界の人が現在の日本人の暮らしを維持するためには地球が2.4個必要であり、アメリカ並の暮らしをすると5個必要だと言われています。地球全体ですら1.2個と、地球一個分のポテンシャルを越えてしまっています。

昨年、西ドイツのハイリゲンダムでサミットが開催されましたが、そこで安倍前首相が「世界は2050年までに現在の排出量を半減しなければいけない」という主旨の話をしました。半減とはどういうことなのでしょう。産業革命の前、地球の二酸化炭素の濃度は280ppmで気候も安定していたのですが、産業革命後急速に二酸化炭素の排出量が増えていきました。しかし森林や海などの自然界がどんどん吸収してくれるため、なんとか保っていました。現在の濃度は380ppm、自然吸収量のおよそ倍の量を排出しているということとなります。この上昇を2050年までになんとか止め、少なくとも自然の吸収と人間の排出を釣り合わせなくてはいけない、それが安倍前首相の言った「半減」の根拠です。世界の国が半減と言っていますが、世界の国と言っても先進国から途上国までであり今の状態は世界の上位20カ国が全体の80%を排出しているという図式となっているので、先進国が世界全体の半分にすることを考えると、半減どころか6割から8割下げないといけないうことになるでしょう。

では結局どうすればいいのかというと、例えば最近話題になっているレジ袋。レジ袋をもらうのももらわないのではどれくらい違うかということ、レジ袋1枚もらわずにおくと60gの削減になります。ここにみえる50人の方が1日2枚レジ袋を断ると1年で約2tの削減となります。そもそも家庭から二酸化炭素はどれくらい出ているのかということ、日本の平均で5500kgであり、ガソリンが占める割合はそのうち1/3、実際の使用量に置き換えると1ヶ月約58リットル。また、電気は月間平均304kWhです。一度ご家庭の使用量と比較し、生活を見直していただくとよいでしょう。具体的な対策として例えば車の運転で考えてみると、燃料消費のうち4割が発進時であるというデータがあります。発進の時だけちょっとゆっくりめにスタートしてみるとそれだけで発進時の燃料を10%節約することができます。またアイドリングストップをすれば更に向上します。

最後に、私どもは民間の社団法人やNPOであったりした所が「温対法」という法律に基づき、皆さんに啓蒙することを業務にして知事から指定された団体であります。皆様方の会社での講習会や講話などのリクエストもお受けしますので是非お声をかけいただき、温暖化防止の輪を広げていきたいと思っております。本日はありがとうございました。

今週卓話

5月29日(木)

会員卓話：大嶽達郎さん

テ－マ：新入会員イニシエーションスピーチ

次週予定

6月5日(木)

会員卓話：天野正明さん

テ－マ：CLPについて